

論文審査の要旨

報告番号	博 第	号	氏 名	安部 聡子
論文審査担当者	主 査 関屋 昇 副 査 橋本 通 副 査 小長谷百絵			
(論文審査の要旨)				
<p>本研究は、前頭葉活動への朝食摂取の影響を、近赤外線分光法トポグラフィーと認知課題（ストループ負荷課題）を用いて明らかにすることを目的として行われた。健常女子大学生 16 名を対象として、朝食摂取要因（摂取、欠食）を、非盲検 2 群割付クロスオーバーデザインを用いて検討した。前日の睡眠と夕食を統制し、実験日には 500kcal の朝食摂取 90 分後に 4 つの難易度のストループ課題を負荷し、課題遂行中の脳血流量を測定した。その結果、最初の課題および高難度の課題で、摂食条件での認知課題パフォーマンスが欠食条件と比較して増大し、同時に脳血流量も増大した。また、右前頭葉活動が摂食条件で増大する傾向があった。これらの結果から、最初の認知課題における摂食によるパフォーマンスと脳血流の増大は、安静時からの最初の課題開始作業に伴う脳血流の変化と考えられ、また、難課題時ほど摂食の影響が出現することが示唆された。これらの課題負荷時の脳賦活に伴うエネルギー代謝に朝食摂取が影響するものと結論付けられた。</p> <p>本研究は脳活動への朝食摂取の影響を栄養学的な視点から検討したものである。適切な対象および方法を用いて行われ、有用な知見が得られるとともに、今後の研究への方向性が示されており、保健医療学に寄与する内容と思われる。以上の結果より、本論文が保健医療学博士の学位に相当するものと判断した。</p>				
論文題名：「朝食摂取の前頭葉脳血流動態への影響～近赤外線分光法トポグラフィーを用いての検討～」				
掲載雑誌名：日本未病システム学会雑誌 21(2), 1-13, 2015 (2015 年 3 月 24 日受理)				